

【資料3】

第2回鳥獣害防止森林区域に関する有識者会議 ヒアリング資料

岩手県 遠野地方森林組合 業務課長 多田宏幸

1 遠野地域の林業の現状と課題について

遠野市面積	82,562ha	
森林面積	38,987ha	}
私有林	32,551ha (83%)	
県有林	4,538ha (12%)	
市有林	1,898ha (5%)	
国有林	29,622ha	
計	68,609ha	(遠野市の83%が山林)

遠野市は、人工林率約54%と県内（県平均約46%）でも高い比率である。林齢構成は9齢級以上が人工林の45%を占め蓄積も多い。

一方、未整備森林も多くみられその背景には、森林所有者の高齢化・不在森林所有者の増加、境界不明山林、立木価格の低迷による所有者の無関心等が放置山林の拡大を招き森林の機能低下による災害も心配される。

この現状を打開する方策として、林内路網整備を進め、森林所有者が山に行きやすくし、身近な資源として森林の価値を再認識してもらう環境を整える事も大事だと考えている。

この対応として、当組合では、林業専用道や森林作業道の林内路網整備を積極的にすすめ、効率的な作業による造林・保育・伐採等の経費削減に努め、森林所有者の費用負担の軽減と材価還元が出来るように取り組んでいる。

2 遠野地域のシカ被害の状況について

遠野地域のシカによる林業被害については、現在のところ造林地においては忌避剤の塗布を実施して食害を防止している。

しかし、忌避剤の効果が期待できない事例もあることから、今後どのような対策が必要か検討していかなければならない。

遠野市内の被害状況については、次のとおり農業関係において深刻な状況にあり、捕獲数は年々増加傾向にある。

【参考】遠野市における現状

① シカ有害駆除の現状

H24	有害駆除	543頭	狩猟	332頭	計	875頭
H25	有害駆除	516頭	狩猟	1,288頭	計	1,804頭
H26	有害駆除	1,015頭	狩猟	1,396頭	計	2,411頭
H27	有害駆除	705頭	狩猟	未集計		

② 農業関係被害額

H26年	1億3,500万円
H27年	1億1,000万円

③ 有害駆除予算

H27年	16,880千円
H28年	21,700千円

3 新たな森林計画制度に対する意見

(1) 森林経営計画の作成状況について

当組合では、旧町村単位で（11団地）4,486haの森林経営計画を作成している。

(2) 鳥獣害防止森林区域の設定対象について

鳥獣害防止森林区域の設定については、シカの出没が多い地区や被害が多い地区を、流域単位で設定するのが望ましいと考えられる。

なお、被害の無い区域もあることから、鳥獣害防止森林区域の設定は義務化ではなく、選択可能な形（「できる」規定）が望ましいと考える。

(3) 鳥獣害防止に係る方法（手法）の記載内容について

方法（手法）は、防止柵、ツリーシェルター、忌避材の散布・塗布、捕獲等様々あるが、現地の鳥獣害の被害状況・程度に合わせた対策が必要であると考ええる。

については、設定区域における鳥獣対策の方法は、自由に選択出来るように配慮していただきたい。

なお、鳥獣害防止森林区域の設定・対策実施により、鳥獣害対策の未実施区域に被害を拡散する可能性も考慮し、その対策を講ずることも必要ではないかと考える。

また、鳥獣害防止対策の必要性は認めているが、そのことが森林所有者に大きな負担を伴うことが無いように、十分な予算措置も併せてお願いしたい。

(4) 鳥獣防止対策の評価について

鳥獣防止対策の評価については、自然環境の中の野生生物が対象であり、計画どおりに実行しても予想とは異なる結果となることが大いに考えられる。

については、画一的な評価制度は馴染まないと考える。

4 その他

獣害被害は林業に限られたことではないことから、もっと大きな枠組みの中で効率的に進める事が出来ないか、検討することも必要ではないかと考える。